



# あけぼの

教育目標 「進んで学ぼう」「思いやりの心をもとう」「理想の実現に努めよう」

## 運動会スローガン～ 一位奮闘 ～

■第74回運動会のスローガンは、一位奮闘でした。一意奮闘という四字熟語を基に考え付いたようです。一意奮闘の意味は、「心を一つのこと集中し、奮い立って戦うこと。また、力いっぱい努力すること」だそうです。意を位に変え、一位を目指して、心を一つにしてクラスが団結して



いこうというメッセージの運動会でした。

運動が得意な人、苦手な人がクラスにいるのは当たり前のことです。練習の中では一位を目指すあまりに、相手を攻めてしまったりあきらめてしまったりすることがあった人もいられるかもしれません。しかし、当日の運動会では、それぞれの思いをもちながら皆さんがベストを尽くしていたと感じました。競技はもちろんのこと、応援をはじめ、入退場の動きもしっかり駆け足しできびきびとしていました。素晴らしかったです。一生懸命に取り組む姿は、とても美しく、そこには感動が生まれ、多くの人に感動を与られます。特に3年生の全員リレーでは、バトンパスの場面で、「頼むぞ!」という思いをこめて絆がつながっているレースだったと心から感じました。

今回は、曙町、高松町、栄町の地域の皆様から熱中症対策としてテントを快く貸していただきました。前日準備では雨と一緒に設置することはできませんでしたが、当日の朝に地域の方が来られ、テントの設置を手伝ってくれました。また、山田PTA会長さんをはじめ、PTA役員の皆様には、テント搬入、設置、片付けそして受付や駐輪



場の誘導など、運動会を支えていただきました。運動会実行委員をはじめ、係生徒も前日準備、

当日も朝早くから登校し、運動会を成功させるために一生懸命働いてくれました。保護者も朝からお弁当を作ってください、応援にかけつけてくれました。多くの方がこの運動会に関わり、支えていることに感謝し、その感謝を行動で表し、社会に貢献できる生徒に成長してほしいと切に願います。

運動会の行事などは新学習指導要領では、特別活動の枠に入ります。特別活動の目標には、

- ①多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ②集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。
- ③自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。とあります。

生徒一人ひとりによって学びは違います。中学校は、社会性を身に付けていく場です。将来、日本人だけが働いている会社ではなく、たくさんの国籍をもつ会社で働くかもしれません。文化や考え方が違う中で、どのように方向性を見だしていくのが求められます。学級活動や行事には、そのような大切な学習がつまっているのです。

今回の運動会の取組の中で、みなさんが学んだことを今後の学校生活に活かしていきましょう。